

21世纪大学日语专业系列教材



7

新编综合日语

主 编 陈俊英

分册主编 杨 红 王国辉

审 订 [日] 谷守正宽 陈多友



中国对外翻译出版公司

21世纪大学日语专业系列教材

新编综合日语

7

主 编 陈俊英

分册主编 杨 红 王国辉

编 者 李国宁 李海爽 岳喜凤

审 订 [日]谷守正宽 陈多友

 中国宇航出版社

• 北京 •

版权所有 侵权必究

图书在版编目 (CIP) 数据

新编综合日语. 7 / 陈俊英主编 ; 杨红, 王国辉分册主编
— 北京 : 中国宇航出版社, 2014.8
21 世纪大学日语专业系列教材
ISBN 978-7-5159-0776-5

I. ①新… II. ①陈… ②杨… ③王… III. ①日语—高等学校—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 184471 号

策划编辑 姜 军 赵 天 装帧设计 宇航数码
责任编辑 满新茹 责任校对 刘东雪

出版 中国宇航出版社

社 址 北京市阜成路 8 号 邮 编 100830
(010) 68768548

网 址 www.caphbook.com

经 销 新华书店

发行部 (010) 68371900 (010) 88530478 (传真)
(010) 68768541 (010) 68767294 (传真)

零售店 读者服务部 北京宇航文苑
(010) 68371105 (010) 62529336

承 印 北京嘉恒彩色印刷有限责任公司

版 次 2014 年 8 月第 1 版 2014 年 8 月第 1 次印刷

规 格 787 × 1092 开 本 1 / 16

印 张 16.5 字 数 340 千字

书 号 ISBN 978-7-5159-0776-5

定 价 49.80 元

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

21世纪大学日语专业系列教材

主 编	陈俊英	(湛江师范学院)
副 主 编	杨 红	(湛江师范学院)
	王 磊	(青岛理工大学)
	孙淑华	(河南师范大学)
审 订	[日]谷守正宽	(日本甲南大学)
	陈多友	(广东外语外贸大学)

编写委员会 (以姓氏汉语拼音为序)

陈俊英	(湛江师范学院)
程国庆	(青岛大学)
洪伟民	(上海商学院)
司志武	(暨南大学)
王传礼	(韩山师范学院)
王 磊	(河南师范大学)
王玉芝	(河北师范大学)
徐永祥	(唐山师范学院)
于卫红	(内蒙古大学)
张继彤	(上海理工大学)
张金艳	(内蒙古师范大学)
张永平	(山东政法学院)
郑爱军	(青岛理工大学)

总序

随着全球化时代的到来和我国与日本合作、交流领域的不断扩大,社会对复合型、实用型日语专门人才的需求逐年增加。为适应这种需要,近年来,我国设置日语专业的大学也在迅速增加,根据中国日语教学研究会2011年公布的信息,全国已有466所大学设立了日语专业。

然而,从教学实践来看,适用于培养社会所需的复合型、实用型日语人才的教材却不多见。为此,部分普通大学日语专业骨干教师萌发了合作编写一套实用型日语教材的想法。经过前期精心筹划和准备,以2010年初在湛江师范学院举办的“大学日语专业教学暨实用型教材建设研讨会”为契机,正式启动了本系列教材的编写工作。

一、本系列教材编写依据、原则和使用对象

本系列教材以教育部《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》和《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》(以下简称教学大纲)为指导,并参考了《高校日语专业四级考试大纲》和《高校日语专业八级考试大纲》以及日本国际交流基金等编《日本語能力試験出題基準》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N1, N2, N3》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N4, N5》等相关日语资格考试文献资料。

本系列教材以“学生好学,教师好教,贴近生活,注重实用”为编写原则,旨在帮助学生锤炼日语基本功,激发学习兴趣,学会学习;培养综合素质、实践能力、社会文化理解能力和跨文化交际能力;培养取得日语能力考试,专业四、八级考试等国际、国内日语资格证书的能力。

本系列教材主要适用于大学日语专业学生。根据学习或取得日语资格证书的需要,零起点或有一定学习基础的日语爱好者也可以从中任意选用。

二、本系列教材编写中的技术处理

为达到本系列教材的编写初衷,在编写时做了如下技术层面的处理:

在语法层面上,根据教学大纲要求和取得日语资格证书需要,将语法按日语能力考试N5~N1和专业四、八级考试水平由低到高分1~7级,并分别编入相对应的各册。为此,第1~5册分别相当于日语能力考试N5~N1水平,而前4册又相当于专业四级考试水平;第6~7册继续锤炼日语基本功,提高实践能力,充实文化知识,相当于专业八级

考试水平。

在内容层面上,对各册的选材范围、主题、难易梯度等进行了整体设计和安排。例如,第1~2册主要涉及日本日常生活常识、基本礼仪习惯和学习方法等话题;第3~4册主要涉及日本社会、文化、商务礼仪、环保等话题。

三、本系列教材的构成和使用

本系列教材涵盖日语专业4门必修课程,包括《新编综合日语》《新编日语听解》《新编日语会话》和《新编日语读解》。《新编综合日语》为系列教材的核心和主线,其余分册既是《新编综合日语》的补充、内伸外延,又分别承担不同的任务,各具特色。简言之,分则独立,合则系统。

本系列教材中的《新编综合日语》和《新编日语听解》各为7册,均配有教与学参考书,适用于1~7学期;《新编日语会话》为4册,适用于1~4学期;《新编日语读解》为4册,适用于3~6学期。

四、本系列教材的特点

1. 吸纳优秀教材所长,链接社会实际需求,重视学生综合素质和“即战力”的培养。
2. 引导学生学会学习,学会做人,学会做事,学会认知,提高人文素质。
3. 反映国际、国内日语资格证书考试要求和水平,把学习和获取考试证书相结合。
4. 提供立体化教学资源包:教学PPT、网络资源和互动博客等。

本系列日语教材的问世,是集体智慧和通力协作的结晶。有湛江师范学院、上海理工大学、青岛理工大学、上海商学院、河南师范大学等十几所大学日语教师、同学和日本外教的辛劳和汗水;有日本鸟取大学、新潟大学等几所大学日语教育专家以及几位媒体资深记者的鼎力相助;有北京大学、北京师范大学、北京外国语大学、广东外语外贸大学等诸位专家在百忙中的热情支持;有著名外资企业高管提供的宝贵素材和相关建议;同时还从现有多种优质教材中吸收了大量养分。

中国宇航出版社作为国家级品牌出版社,积极投身于我国外语教学事业,对本系列教材的出版给予了热情帮助和大力支持,并将其列为出版社“十二五”规划教材。在此,谨对以各种方式关心、帮助、支持本系列教材出版的国内外各位学者、专家、同仁和同学们一并表示深深的敬意和谢意。

由于编者水平有限,经验不足,加之时间仓促,本系列教材难免会有不少疏漏和不尽人意之处,恳请各位专家、同仁和同学们多多提出宝贵意见。

《21世纪大学日语专业系列教材》编写委员会

2011年7月

前 言

《新编综合日语》是《21世纪大学日语专业系列教材》中主干教材之一，共7册。各册均配有《新编综合日语教与学参考书》。

本册为《新编综合日语》第7册，适合大学日语专业第7学期使用，共15课。课文包括评论文、随笔、小说、童话、短歌、古典文学等多种题材，内容丰富多彩。每课由“导语”“语法要点”“本文”“作者の紹介”“語彙”“文法表現”“練習”构成。

- “导语”提示本课的学习内容，以帮助学生尽快进入学习状态。
- “语法要点”把与本课出现的语法相关且意义相近的语法进行归纳比较，一目了然，方便学生学习和理解。
- “本文”是各课课文。
- “作者の紹介”介绍作者的生平业绩，有助于学生了解课文的背景，是本册新增设的解释栏目。
- “語彙”按单词出现的先后顺序排列，标注了假名、日语汉字、声调、词性和常用汉语释义。
- “文法表現”是在对1~6册所学语法进行补充的基础上，注重与日语专业8级考试语法的衔接和相近语法的辨别，旨在帮助学生破解日语专业8级考试的难点。
- “練習”是检验、巩固、活用所学知识，提高学生应用能力的重要一环。每课设有一个作文题目，旨在提高学生的写作能力，为参加日语专业八级考试打下坚实基础。其他各题的词汇、语法、阅读理解等内容不仅测试学生对课文中出现的词汇、语法的掌握程度，还与日语专业八级考试相链接。

本册主编由杨红、王国辉共同担任。书稿完成后，主编和日本甲南大学谷守正宽教授对所有书稿进行了精心审订与校对，日语教师李国宁、李海爽、岳喜凤参加了编写工作。此外，还得到了湛江师范学院2011级日语专业全体同学的鼎力帮助，特别是全孟可

茵、杨雪仪、侯伟玉、苏泳琦、黄亦衡、朱金燕、谭玉莹、黄雪雁、王微微、邱小莉、钟景裕、周桂榕、张雅倩、杨佩佩、刘苏兰、曾镜烂、黎荣芬、文冬梅、李敏同学为本书的录入、单词检索付出了艰辛劳动。同时，中国宇航出版社的编辑和评阅专家提出了不少宝贵的意见与建议，在此一并致以诚挚的谢意。

由于时间仓促，水平有限，难免存在欠缺或纰漏之处，敬请各位专家、学者、同仁和同学们批评指正。

编 者

2014年5月

目 次

1	第1課 論理で文章を読みつなぐ
13	第2課 ハイテク化と人間のゆくえ
27	第3課 現代の個人主義
41	第4課 ミロのヴィーナス
53	第5課 外来語と日本文化
65	第6課 翻訳とはどういものか—私の学習体験談
79	第7課 「四本足のにわとり」考
93	第8課 任意の一点
111	第9課 不思議な魚
127	第10課 盲目と聾者
145	第11課 赤い繭
159	第12課 檸檬
175	第13課 城の崎にて
189	第14課 短歌鑑賞
215	第15課 竹取物語
239	付録A 文法の索引
243	付録B 語彙の索引
253	主な参考文献

第1課 論理で文章を読みつなぐ

たけくにともやす まえなかあきら まきのつよし
竹国友康・前中昭・牧野 剛

导语

大家在平时学习或在考场上，遇到读解长篇评论性日语文章时往往会感到无从下手。那么，要如何阅读长篇日语文章？迅速理解长篇日语文章有哪些技巧？

语法要点

動作の対象を表す文型とその区別：

1. ～について
2. ～に関して・～に関する
3. ～に対して・～に対する
4. ～にこたえて・～にこたえる
5. ～をめぐる・～をめぐる
6. ～向けに・～向けの・～向けだ
7. ～にかかわる

本文

部分から全体へ

文章を読むときは、当たり前のことだが、何について書かれているだろうか、まず冒頭の第一文を読み、それに続く第二文を読み、さらに、その先を読み進んでいくなかで大体こんなことが話題の中心になっているようだ、と少しずつ見え始めてくる。そのとき私たちは、第一文の内容と第二文の内容との関係を考え（大体同じことが書かれているなどか）、次の第三文の内容との関係を考え（話題が少し変わったなどか）、さらにそれに続いていくいくつもの文の内容を次々と関係づけながら、その段落全体の趣旨をつかむ（あのあたりが大事そうだとか）というような作業、つまり、文章を「読みつなぐ」ということを、何となくではあれ、おこなっているはずだ。同じように段落と段落との関係を考え、それらを読みつないでいき、文章全体のおおよその趣旨をつかんでいく。このように見てくれば、「文章を読む」とは、いわば部分を読みつなぎ、その全体像をつかむ作業のことであると分かるだろう。

全体から部分へ

ところで、私たちは、文章を読むとき、この「部分から全体へ」の読みつなぎだけではなく、逆に「全体から部分へ」の読みつなぎも同時におこなっている。たとえば、ある段落でひとつの文の内容が理解しにくい場合、いったんそこで読解の流れが途切れるが、そのつづきを読み進めていくなかで、わかりにくかった一文のおおよその意味が見えてくれば、途切れていた部分が読みつながつたりする。また、まとめの段落まで読みすすめることで、それまで論じられてきたことが、こういうことだったのかとはっきりしてくることもある。部分を部分として精確に読んでいくことはもちろんしなければならないことだが、部分の理解は全体の理解との関係でいっそう深められるものだという点にも心を留めておきたい。

文章をどう読めばよいか—大切な部分を精確につかむ3つの方法

文章を「読みつなぐ」にあたっては、いくつかの「道具立て（方法）」が必要だ。まずは、文章の部分、部分の大切な内容や論理を精確につかむ方法をマスターすることから始めよう。

(1) 具体部と抽象部とを読み分ける。私たちは普通に会話をしているときでも、具体と抽象の世界を行き来している。友達が抽象的なことをいってわかりにくいと

き、君は「たとえばどういうこと？」といって、もっと分かりやすく具体的に説明してくれるように頼むはずだ。また反対に、君があまりにもこまごまとしたことを並べ立ててしゃべっていると、友達は「つまりどういうことがいいたいの？」といって、もっと簡潔にまとめ、抽象化してくれるように頼むだろう。

このことは文章についてもいえる。書き手は、目の前にある具体的な事象・データにもとづき、「ひとつのまとまった見方や考え」（抽象）を導き出す。Aという社会の成員 $a_1 \cdot a_2 \cdot a_3$ がみな魚をナマで食べていれば、その具体的なデータにもとづき、Aという社会は魚をナマで食べる文化であると抽象されるようにである。また反対に、書き手自身が少し抽象的に書いた部分を読み手にわかってもらいたいと考えたときは、それをわかりやすくかみくだいた具体的な説明をその前後につけるだろう。

文章での具体部と抽象部との区分は絶対的なものではないが、一般的にいて、抽象部に書き手の考えのまとめ（大切な部分）が置かれていることが多い。具体部をよく読んで抽象的な部分の内容を理解する手がかりをつかみながら、この抽象部を段落の趣旨がよく出ている箇所として明確に押さえることである。

(2) 強調的表現に注意して、キー・センテンスをつかむ。文章を書き進めていくなかで書き手がここぞと思うところでは、読み手に対し注意を促すようなサインを出していることが多い。そこだけは強く訴えたい、ここに注目してほしい…といった書き手の気持ちや意志がコトバとなって示されるのである。そのコトバとは、例えば「～こそ～である」「～することが必要である」「～しなければならない」「もっと肝要なことは～である」といった主張型表現だったり、「～とは～である」「このようにして～ということがいえる」「簡潔にいいかえれば～である」といったまとめ型表現だったりするが、これらの強調的表現に着目しながら読むことで、文章理解のための大切な部分としての「キー・センテンス」を押さえることができる。

(3) くり返されるコトバや文に着目する。見知らぬ人どうしの会話が耳に入ってきたとして、そこで「Jリーグ」というコトバが二度三度とくり返されているなら、私たちは「あの人たちはサッカーの話題で盛り上がっているのだな」と見当をつけることができる。また、学校の授業でも、同じことがくり返され、「しつこいなあ」と、先生の話聞きながら思ったこともあるだろう。そして、そこがテストに出て、後から「しまった」と思うのである。くり返されるコトバや文は、このようにその文脈での主題（テーマ）を示しているし、また伝えたい大事なことであったりもする。

何がその部分の話題の中心なのか、またその話題についてどう論じているかを、これらのくり返されるキー・ワード（コトバ単位）、キー・センテンス（文単位）をチェックしながら読んでいくことで、文章の中心的道筋を踏みはずすことなく、読みつないでいくことができるだろう。

なお、解答に際しても、キー・ワード（センテンス）がつかめたら、それらが入っている選択肢に着目すればよいのだし、記述答案にも、それらの語を積極的に盛り込んでいき、論旨の明確な答案をまとめることができるだろう。

さて、＜大切な部分を精確につかむ方法＞を順を追って見てきたわけだが、方法の（１）・（２）・（３）は別々のものとは限らない。ある一文が、抽象部であり、なおかつ強調的表現を含むキー・センテンスであったりすることもあるだろう。また、強調的表現といっても、先に示したコトバ以外にも文脈に応じて、実にさまざまな表現がある。これらの方法は、文章を読みとるための手段であって目的ではないということを忘れないでおいてもらいたい。その方法を読みとりの目的としてしまい、それを「公式・定石」としてしまうことは、かえって文章の読みとりを硬直化させることになりかねないからだ。現代文の参考書や問題集のなかには、「読解の定石」なるものを、あたかもそれが万能であるかのごとくうたっているものもあるようだが、私たちはそのような公式主義からは自由でありたいと思っている。

＜竹国友康，前中昭，牧野剛．現代文と格闘する．東京：河合出版．2004.＞

作者の紹介

本文の作者は、竹国友康・前中昭・牧野剛で、日本の河合塾の講師である。詳細な紹介はない。

語彙

冒頭（ぼうとう）	①	[名]	开头，开始
繋ぎ（つなぎ）	①	[名]	连接；（临时）补加，填补
一旦（いったん）	①	[副]	一旦；暂且
途切れる（とぎれる）	③	[2動自]	中断

道具立て（どうぐだて）	①	[名]	准备道具；做各种准备
細々（こまごま）	③	[副]	零零碎碎；仔仔细细
噛み砕く（かみくだく）	④①	[1動他]	咬碎，嚼烂；详细解说
着目（ちゃくもく）	①	[名・3動他自]	着眼，注意
しつこい	③	[1形]	执拗，纠缠不休；（色、香、味等）浓艳，腻人
見当（けんとう）	③	[名]	预计，估计；大致方向；大约
道筋（みちすじ）	①	[名]	条理，道理；道路
定石（じょうせき）	①	[名]	常规的做法；（围棋）一定的招数，棋谱
硬直（こうちょく）	①	[名]	僵硬；僵化，死板
恰も・宛も（あたかも）	①	[副]	犹如，宛如；正值
如く（ごとく）	①	[助動]	如……，像……一样

文 法

動作の対象—動作が向かう相手やものごとを示したい時の文型とその区別：

1. ～について

取り扱う対象を言う時に使う。話す，聞く，考える，書く，調べるなどの意味の動詞が後に来ることが多い。このことは「～に関して・～に関する」の場合も同じだ。名詞に接続する。

- ① あの人についてわたしは何も知りません。
- ② この国の歴史についてちょっと調べてみようと思っている。
- ③ 今日の小論文の試験は「わたしの国の環境について」というテーマだ。

2. ～に関して・～に関する

取り扱う対象を言う時に使う。「～について」より硬い表現。名詞に接続する。

- ① この論文は，中国の宗教に関する部分の調べ方が少し足りない。
- ② 今回の「レジャーの利用」に関してのアンケートはとても興味深かった。
- ③ この問題に関してはさまざまな方面から意見が寄せられた。

3. ～に対して・～に対する【～に／を相手として・～に／を相手とする】

動作や感情が向けられる相手や対象を表す。「～について」や「～に関して・～に関する」と違って、相手に直接、動作や気持ちが及ぶ時に使う。後には対立関係を表す語（反抗，反論，抗議など）が来ることが多い。名詞に接続する。

- ① 田中先生は勉強が嫌いな学生に対して、とりわけ親しみをもって接していた。
- ② この賞は特に伝統文化の継承に功績のあった人に対して贈られるものです。
- ③ 子供の親に対する反抗心は、いつごろ生まれ、いつごろ消えるのだろうか。

4. ～にこたえて・～にこたえる【～に沿うように／な】

前には質問，期待，要望などを表す名詞に接続する。

- ① 政府は国民の期待にこたえるような有効な解決策を打ち出した。
- ② 参加者の要望にこたえて、次回の説明会には社長自身が出席することになった。
- ③ 聴衆のアンコールにこたえて、歌手は再び舞台に姿を見せ、歌を歌った。

5. ～をめぐる・～をめぐる【～を議論や争いの中心点として／とする】

「～」を中心点にして、どんな議論や対立関係が起こっているかを言う時に使う。名詞に接続する。後には、意見の対立，いろいろな議論，争いなどの意味を持つ動詞が来ることが多い。

- ① ビル建設をめぐる争いがようやく解決に向かった。
- ② 町の再開発をめぐる、住民が争っている。
- ③ このルールをめぐる、まだ討論が続いている。

6. ～向けに・～向けの・～向けだ【～のために／の／だ】

「～に適するように／な／だ」と言いたい時に使う。名詞に接続する。

- ① このパンフレットは外国人向けだが、日本人が読んでもとても面白く、ためになる。
- ② この論文には専門家向けの用語が多いので、一般の人にはわかりにくい。
- ③ これは子供向けに書かれた本です。

7. ～にかかわる【～という重大なことに関係する】

ただ「関係がある」という意味ではなく、それに重大な影響を与えるという意味。名詞に接続する。

- ① 科学技術こそは国の将来にかかわる重要なことではないでしょうか。
- ② プライバシーを守るということは人権にかかわる大切な問題です。
- ③ 人の名誉にかかわるようなことを言うな。

練習

1. _____の言葉の読み方として最もよいものを、A～Dから1つ選んでください。

- (1) 道端で咲いているタンポポを見て勇気付けられました。
A. どうはし B. みちばた C. どうばた D. みちはし
- (2) そんな自分にあった収納で、心地よい暮らしを叶えるアイデアを紹介します。
A. しゅうとう B. しゅとう C. しゅのう D. しゅうのう
- (3) このことについて、軽率な判断ではペケよ。
A. こうそつ B. こうりつ C. けいそつ D. けいりつ
- (4) 上司たるものは部下を労わなくてはならない。
A. いた B. ねぎ C. ろう D. すべ
- (5) 今回の解決策は一時凌ぎにしかならないと思う。
A. ひし B. こえ C. しの D. のせ

2. _____に入れるのに最もよいものを、A～Dから1つ選んでください。

- (1) 彼の今後の進路に_____がたちこめました。
A. 暗雲 B. 危険 C. 津波 D. 障害
- (2) 彼女は自分には才能があると_____いる。
A. ひやかして B. おもむいて C. うぬぼれて D. あつらえて
- (3) あの道は今工事中なので_____してきてください。
A. 通り道 B. 回り道 C. 寄り道 D. 帰り道
- (4) 午後頭痛がおさまり、仕事を_____済ませました。
A. ばっちり B. きっちり C. さっぱり D. はっちり

(5) 「シンミ屋」は一瞬_____ そうな小さなお店でしたが、とっても雰囲気がよくて、料理もおいしかった。

- A. 見通し B. 見落とし C. 見直し D. 見顔し

3. _____ の言葉に意味が最も近いものを、A～Dから1つ選んでください。

(1) 彼女の数奇な経歴はまさに一編の小説だ。

- A. おかしい B. ふうんな C. こううんな D. げきてきな

(2) あの人はさりげない調子で受け答える。

- A. あほうらしい B. だらしない C. はかない D. なにげない

(3) 安全第一というスローガンを提出した。

- A. 内容 B. 標語 C. 方針 D. 理念

(4) タバコのパッケージは鳩のデザインでした。

- A. 標示 B. 記号 C. 形式 D. 包装

(5) 彼女のそっけない態度には頭に來た。

- A. あくどい B. あつかましい C. きまりわるい D. つめたい

4. 次の言葉の使い方として最もよいものを、A～Dから1つ選んでください。

(1) 全快

- A. やっと風邪が全快した。
B. 全快一週間の怪我をした。
C. どっぷりと温泉につかり、全快をしたいと思います。
D. なんと全快な天気だ。

(2) とてつもない

- A. そのとき、僕の人生がとてつもないに暮れていた。
B. デジカメで撮った写真をエクセルに挿入すると、とてつもない大きい画像になり困ってます。
C. 叔母は麻薬にハマっているとてつもない人と結婚した。
D. 汚染で海水浴場の色がとてつもないことになった。

(3) 抱える

- A. これ、プレゼント用なので、抱えてください。
B. そのかばん、僕がお抱えしましょう。
C. ここ数年、セクハラ相談件数が急増し、担当者は対応策に頭を抱えている。
D. 子供は抱えをせがみます。